

第1回 世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直し検討委員会 議事録

日時	令和6年8月5日(月) 10:30~12:15	
場所	砧小学校 1階ランチルーム	
出席者	委員	14名(宇佐美、荒川、神田、島崎、畝目、佐々木、玉野、秋山、宇都宮、市川、高橋、奥、米倉、池田) ※欠席1名(入江)
	事務局	世田谷区 教育環境課 高野、鍋坂、小野塚、片倉
	関係部署	世田谷区 施設営繕第一課 高源、井上
	基本構想見直し検討支援事業者	株式会社久米設計 川井、鈴木、斎藤、早川

【配布資料】

- 資料1 世田谷区立学校改築基本構想検討委員会設置要綱
- 資料2 世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直し検討委員会委員名簿
- 資料3 砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直し 検討委員会スケジュール(案)
- 資料3別紙 砧小学校・砧幼稚園改築だより(令和2年11月 第3号)
- 資料4 令和元年度策定基本方針及び基本設計で考慮すべき基本事項
- 資料4-2 基本方針 事務局案
- 資料5 世田谷区立砧小学校・砧幼稚園改築基本構想見直しにあたっての前提条件について
- 資料5別紙 敷地内の擁壁配置図
- 資料6 設計・工事の発注手法について
- 資料7 改築計画全体スケジュール(案)
- 資料8 世田谷区公共施設等総合管理計画一部改訂(第2期)(抜粋)
- 資料9 区立学校のプール施設整備と水泳授業等のあり方について(概要版)
- 資料10 世田谷区公共建築物 ZEB 指針
- 資料11 標準設計仕様書(抜粋)
- 資料12 区立幼稚園集約化等計画(抜粋)
- 資料13 学校等における医療的ケア実施ガイドライン(抜粋)
- 資料14 配置計画たたき台

1. 開会挨拶

2. 委員会の目的

- 【事務局】資料1を説明。

3. 委員紹介

- 【事務局】資料2を説明。
- 【事務局】本日は入江委員が欠席。

4. 委員長互選

- 【委員】玉野委員に委員長をお願いしたい。
⇒（一同承認）
- 【委員長】委員長代理を畝目委員をお願いしたい。
⇒（一同承認）

5. 議題

1) 会議の進め方とスケジュールについて

- 【事務局】資料3,3別紙をもとに、会議の進め方と今後の検討委員会スケジュール等について説明。
- 【事務局】10月に改築に向けたテーマに、在学児童が参加するワークショップを実施する。
- 【委員】児童とのワークショップについてイメージはあるか。
⇒【事務局】テーマや進め方などは今後神田校長と調整する
- 【事務局】全3回の本委員会の終了後、改築だよりを事務局にて作成し、学区の皆様・在学児童保護者様等に本委員会での検討事項を提示予定。

2) 令和元年度策定 基本方針及び基本設計で考慮すべき基本事項について

- 【事務局】資料4,4-2をもとに、令和元年度の基本構想検討委員会で策定された基本方針について説明。
- 【委員】基本方針（事務局案）にてトイレの清潔感や明るい室内環境などの項目の代わりに医療的ケア児の項目が増えているが、それは当たり前という前提ということで良いか。
⇒【事務局】良い。本計画の特徴として医療的ケア児への対応があるので、基本方針ではその方針を追加した。

3) 基本構想見直しにあたっての主な視点について

- 【事務局】資料5,5別紙,6,7,8,9,10,11,12,13をもとに、基本構想見直し検討にあたっての前提条件について説明。

4) 配置計画たたき台について

- 【事務局】資料14をもとに、配置計画たたき台の内容について、令和元年度に策定された基本構想からの変更点を踏まえて説明。

《医療的ケア児・特別支援学級への配慮について》

- 【委員】インクルーシブという言葉には共生社会などという意味があり、使用を避けたほうが良いと考えている。「共に学び、共に育つ」のような言葉の方が良い。
- 【委員】医療的ケア児への配慮として、保護者控室や看護室、看護職員控室などの有無や設置階数を検討すること。
- 【委員】救急車両の動線、乗り入れスペースのほか、医療的ケア児の登校にはバギーや小さめのバス通学も考えられるため、ルートや停留スペースなどを検討すること。
- 【委員】EVを利用することを前提とする場合、視認し易い設置位置、バギーやストレッチャー・車いすが利用できるサイズ、非常用電源の確保等、検討が必要。
- 【委員】特別支援学級について、専用の職員室が必要。

- 【委員】 特別支援学級の面積が令和元年度 基本構想時では 364 m²であったが、たたき台案では 235 m²しか確保できていないが、不足していないか。
⇒【事務局】 現状決定している特別支援学級のスペースは 448 m²程度になっており、前回から 3 教室分増加している。
⇒たたき台案の計画図はプロポーザル時の要求水準書に則った計画になっているので、第 2 回検討委員会までに調整する。
- 【委員】 特別支援学級を地下 1 階に計画しており、昇降口から 1 階下がる計画になっているが、肢体不自由の児童が在籍する場合、負担になるのではないか。

《既存百年桜や松の保存について》

- 【委員】 グラウンドにある既存の松の木や桜の木について、本計画校のシンボルとして、保存・活用方法を検討してほしい。
⇒【事業者】 樹齢の長い樹木になるため、移植の可否については検討が必要。移植に限らず、接ぎ木などそのほかの活用方法についても検討していく。

《国分寺崖線の景観、富士山への眺望への配慮について》

- 【委員】 シンボリックな校舎という説明があったが、国分寺崖線の景観に配慮して建つ地域にとっての象徴ということを念頭に置いてほしい。
- 【委員】 富士山への眺望は既存保育園の遊戯室、小学校の 2 階・3 階の普通教室前の廊下からも望むことができるため、新築建物においても富士山が見える景色が当たり前の風景になるように設計してほしい。

《地域利用への配慮について》

- 【委員】 今年の砧っこ祭りは新築工事期間中を想定してグラウンド利用を減らし、校舎内での活動を増やす試みをしている。地域行事など盛んな地域でもあり、なるべく工事期間を短くし、行事等地域の活動を良い環境で行えるようにしたい。
- 【委員】 地域とのつながりが強いいため、地域の中の学校として機能面も充実させ、地域開放エリアを明確化するよう検討してほしい。

《通学動線について》

- 【委員】 現状では 8 割程度の児童が幼稚園側から登校しているため、正門（東側）より西門からの登校が多くなると想定されるが、西門を主動線と考えてよいか。
⇒【事業者】 良い。既存の幼稚園門あたりから小学校グラウンドまでの動線が確保できるかについては、セキュリティや運用方法含めて今後検討する。

《教室数について》

- 【委員】 児童数の増加について、新設校の最初期は児童数の増加が大きいことから、教室数が足りなくなることを懸念している。教室数については問題ないか。
⇒【事務局】 令和元年度 基本構想時では普通教室 21 室＋ワークスペース 3 室であったが、大蔵団地の建て替えなどによる人口増を見込んで、現状普通教室 24 室＋ワークスペース 3 室としている。

⇒【事業者】たたき台の図面はプロポーザル時のものになっているので、教室数の変更には対応できていない。第2回検討委員会までに現状の必要教室数に対応した図面に修正する。

《環境配慮について》

- 【委員】ZEB Ready 達成のためにガラス面積を減らし外壁面積を増やすことが最も効果があるので、壁とガラスのメリハリのある計画としてほしい。
- 【委員】グリーンインフラの採用を検討してほしい

5) 閉会

- 【委員長】別途意見があれば事務局へ連絡いただきたい。
- 【委員長】次回検討委員会は9月12日を予定している。

以上